

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		平成(30)年度 ロイロノートを活用した作文指導
授業について	教科名等	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	
	授業の目標	学校行事(マラソン大会)を振り返って、気持ちが伝わる作文を書く。作文は、はじめ、中、終わりを意識してわかりやすい文章を書く。
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (5)年 (28)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input checked="" type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input checked="" type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 書きたいことや書くべきことは理解しているものの、頭の中だけで整理をすることが難しく何から書けばいいのか分からない。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input checked="" type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援)
	使用した支援機器等教材の名称と画像	iPad ロイロノート/LoiLo inc(文字や写真などを使ってスライドを作成し繋げたり並び替えたりするアプリ) 
授業展開	授業展開・支援の手立て	<1時間目> 5分 作文の書き方について確認(テーマ、内容、構成) 5分 ロイロノートを使った作文づくりについて説明 10分 ロイロノートの操作方法を確認(全員にiPadを1台配布) 15分 作文として自分が伝えたい内容をスライドに書き出す 10分 作文の構成を考えながらスライドの順番を変える <2時間目> 10分 作文の構成を考えながらスライドの順番を変える、書きたい内容を再度検討する 30分 ロイロノートでまとめた考えを用紙に書く 5分 まとめ 
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	<クラスメイト> ・普段は用紙の半分も埋まらない児童が、枠いっぱい文章を書くことができた。 ・普段は漢字を使うことが少なかったり、間違った漢字を使用したりすることが多い児童が、予測変換機能を利用することで正しい漢字を選択して書くことができた。 <対象児> ・これまで支援機器等を使わないで作文を書くときには、何を書けば良いかわからず白紙のまま授業時間が終わっていたが、自分の力で作文を書くことができた。 ・ロイロノートの使用方法について自分なりに工夫をすることができ、クラスメイトにも自信をもって教える様子が見られた。